

日本比較経営学会ニュース

No. 30/2019. 11. 15

発行：日本比較経営学会事務局

612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 番地

龍谷大学経営学部 細川研究室内

Tel/Fax : 075 (645) 8634

e-mail : hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp

日本比較経営学会公式サイト <http://www.jacsm.net>

<30号の主な内容>

- ・第45回全国大会について
- ・第45回全国大会（自由論題報告報告者の募集）
- ・2019年度東西部会のご案内
- ・拡大常任理事会報告

7月に学会年会費の請求書をお送りさせていただきました。納入にご協力いただきますようお願いいたします。未納の方には請求書を同封しています。行き違いの場合には、ご容赦ください。
(学会事務局)

第45回全国大会について

日本比較経営学会第45回全国大会を、2020年6月26日（金）～28日（日）の日程で開催します（26日は理事会などの会議のみです）。会場は、東洋大学白山キャンパスです。劉永鵬会員のご挨拶「第45回全国大会の開催をお引き受けして」は、『学会ニュース』No. 29に掲載しております。

第45回大会のプログラム委員会は以下のような構成となっております（敬称略）。

委員長 日高 克平（中央大学）

委員長代理 國島 弘行（創価大学）

委員 木村 有里（中央大学） 小島 愛（立命館大学）

林 裕明（立命館大学） 村上 了太（沖縄国際大学）

山田 雅俊（玉川大学） 芳澤 輝泰（近畿大学）

幹事 藤原 隆信（筑紫女学院大学） 山縣 正幸（近畿大学）

山本 篤民（日本大学）

プログラム委員会で検討し、以下のような統一論題のテーマと趣意を決定しました。

CSRの再検討：CSV経営の可能性と課題

昨年度大会では、統一テーマを「持続可能な社会と企業経営—地域からみたSDGs（持続可能な開発目標）」とし、国連の提案による持続可能な社会のためのSDGsが世界と地

域の存続に大きな意義を持っていることを明らかにした。今、企業には、本業のなかでSDGs を実装化することが求められている。そこで、本年度の統一テーマを「CSR の再検討：CSV 経営の可能性と課題」とし、「企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）」を歴史的・理論的に再検討し、それとの関連でCSV（Creating Shared Value）経営における実践的・理論的分析を行い、企業経営へのSDGs の実装化状況を検討したい。

2006年コフィー・アナン国連事務総長（当時）は、投資ファンドの短期主義を危惧し、国連責任投資原則（Principles for Responsible Investment：PRI）を提唱し、投資ファンドにESG（環境＝Environment、社会＝Social、コーポレート・ガバナンス＝Governance）投資、すなわち投資先企業に環境や社会を重視させ、長期主義のためにコーポレート・ガバナンスへのエンゲージメントを行うように求めた。

2019年8月19日、アメリカ経営者団体 Business Roundtable は、企業目的を、1979年以後続いてきた株主第一から、顧客、従業員、取引先、地域社会、株主という多様な利害関係者への貢献に変更し、株主にも短期でない長期的株主価値を提供するものとした。企業経営や企業投資のあり方が大きな転換期に来ている。

M. E. ポーターは、2006年、ハーバードビジネスレビュー誌に“共通価値の戦略”を発表し、「共有価値の創出（CSV：Creating Shared Value）経営」を提唱した。1980年代以後「偏狭で近視眼の金融市場」の圧力の下、企業が、従業員や地域社会を犠牲にし、顧客ニーズや長期的な成功を無視し、「財務業績を短期的に最大化」することで、「資本主義は危機に瀕している」とした。そこで、「社会のニーズや問題に取り組むことで社会的価値を創造し、その結果、経済的価値が創造されるというアプローチ」である「共通価値」の原則を提唱し、製品・サービス、バリューチェーン、地域産業クラスターにおける「CSV実践のための3つのアプローチ」を提案した。すでに、CSV経営やSDGsの企業への取り組みは、国内外の企業で行われてきている。

他方で、やっている「ふり」をするグリーン及びSDGs「ウォッシュ」も問題になっている。ピーター・フレミングとマーク・ジョーンズは、『CSRの終焉—資本主義における役割を問う』において、CSRの批判的政治経済学を、CSRによって企業を「自由な参加型民主主義の手段」に政治的に変革しようとする「万能薬としてのCSR」論、グローバル資本主義の持続不可能性を持続可能にみせる煙幕（隠蔽や無関心化）としてCSRを定義する「プロパガンダとしてのCSR」論、「CSRは、企業が生み出した社会的な問題から利益」や株主価値を高める「バイオ・ポリティカル（生政治）な支配」と捉える「パラサイトとしてのCSR」論という、3つのパースペクティブに整理する。CSRについて、企業・資本の隠蔽や支配の手段の側面と、企業への社会的規制や民主化の手段の可能性とが議論されてきている。

当学会では、これまでCSR論については度々検討を重ねてきたが、「CSV経営」も含めて再度検討したい。人権、労働基準、そして環境等への企業のグローバルな取り組みは、喫緊の問題である。企業経営における収益性と社会性、自発性と社会的規制、そこでのビジネスモデルや社会・経済のあり方、国地域の相違等、CSRについて議論を深めたい。

**** 自由論題報告の報告者を募集しています ****

自由論題報告の分科会は、6月27日（土）に開催の予定です。報告を希望される会員は、以下の要領でご応募ください。

なお、第45回大会では、自由論題分科会の他に、テーマ別のセッションを予定しています。自由論題でのご報告を希望された場合でも、テーマによってはご本人の了解を得て、テーマ別のセッションでご報告いただくことがありますので、あらかじめご承知おきください。

- ・申し込み〆切：2019年12月5日（木）
 - ※ 「ニュース」の発行が遅れたためにウェブサイトでの案内よりも遅らせています。
- ・申し込み先：以下の学会事務局宛となります。

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67
龍谷大学経営学部 細川孝研究室内
e-mail: hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp
- ・申し込み方法：報告者の氏名・所属、報告テーマ、報告の概要（400字程度）をお知らせください。

2019年度東西部会のご案内

2019年度の部会を以下の要領で開催いたします。お繰り合わせの上、ご参加ください。

【東日本部会】

- 日 時：2019年12月25日（水）14時～17時30分（終了予定）
場 所：東洋大学白山キャンパス6号館6102教室
- ※ 都営地下鉄三田線「白山」駅から徒歩5分、都営地下鉄三田線「千石」駅から徒歩7分、東京メトロ南北線「本駒込」駅から徒歩5分など。
- 内 容：未定（決まり次第、学会ウェブサイトに掲載します）
その他：企業経済研究会との合同開催です。
- ※ 理事・幹事の方は、6号館6103教室にて、11時から開催する拡大常任理事会にもご出席ください。

【西日本部会】

- 日 時：2019年12月7日（土）13時30分～17時（終了予定）
場所：龍谷大学・大阪梅田キャンパス・セミナールーム
大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14階
https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_osaka.html
- 内容：山崎敏夫氏（立命館大学）
「人的結合からみたドイツの企業間関係」
中道眞氏（新潟薬科大学）
「グローバル市場を志向する国際中小企業の研究」（仮）
- その他：管理論研究会との共催で開催いたします。
- ※ 理事・幹事の方は、同所にて、10時30分から開催する拡大常任理事会にもご出席ください。

拡大常任理事会報告

9月6日（金）に2019年度第1回拡大常任理事会を開催しました。以下、その概要をご報告します。

- ・日時：2019年9月6日（金）10:00～11:50（於：関西大学第2学舎2号館C603教室）
- ・理事：東）木村有里、國島弘行、桜井徹、山田雅俊、
西）青木雅生、岸田未来、田中宏、溝端佐登史
- ・幹事：中道眞、細川孝

【報告事項】

1. 会費の納入状況について

以下の通り、事務局から報告がなされた。

- ・2019年8月29日現在、68人分で504,000円の入金。
- ・郵便振替口座残高1,505,525円、現金残高86,510円、合計1,592,035円。

2. 機関誌編集状況について

鈴木由紀子編集長からの書面で報告がなされた。

3. 『学会ニュース』第29号について

桜井徹理事長から報告がなされた（学会ウェブサイトに掲載済み）。

4. 予稿集・HPウェブ化検討委員会について

青木雅生理事が委員会の議論を促進する役割を果たすことが確認された。

【協議事項】

1. 会員の異動について

1人の退会申し出ならびに5人の会員のシニア会員への移行を承認した。

2. 第45回大会のプログラムおよび統一論題について

國島弘行・プログラム委員長代理から提案のプログラム趣意書案にもとづいて議論がなされた（内容は本「ニュース」に反映されているため、省略）。

3. 会員名簿の作成について

現理事会の任期中において会員名簿を作成することを承認した。次期における会員名簿の作成については、引き継ぎ事項とする。

4. 部会及び第2回拡大常任理事会の開催について

（内容は本「ニュース」に反映されているため、省略）

5. 第46回大会の開催校について

理事会として開催校の候補を検討することを承認した。

6. 次期理事会の選出について

第45回大会時に開催される会員総会で、次期の理事選挙が行われる。総会時に理事選挙の時間を確保することと、そのための準備をすることを承認した。